

せんえんさつ ひと 千円札の人

にはん のぐちひでよ さいきんがくしゃ ゆうめい じんぶつ
日本では、野口英世は細菌学者としてとても有名な人物です。

せんえんさつ ひと い かた おお さつ しょうぞう
「千円札の人」と言えば、わかる方も多いでしょう。お札の肖像

えら ぎょうせき ほか くら
に選ばれるくらいですから、その業績にかけては他に比べられる

ひと ゆうめい じんぶつ
人がいないほど有名な人物です。

のぐちひでよ せんはっぴやくななじゅうろくねんじゅういちがつこのか げんざい
野口英世は 1 8 7 6 年 1 1 月 9 日に、現在の

ふくしまけんいなわしろまち う かれ ひだりて にさい
福島県猪苗代町で生まれました。彼の左手は、二歳のときの

やけど げんいん ゆび こうこうせい とし ゆうじん
火傷が原因で、指がくっついていました。高校生の時、友人た

きょうりよく ひだりて しゅじゅつ う
ちの協力で左手の手術を受けたことがきっかけになって、

いしや ころろざ はたち いしや かれ
医者を志すようになります。20歳で医者になった彼は、や

でんせんびょう けんきゅう はじ
がて伝染病の研究を始めます。